

令和3年度 7月会議 質疑要約

報告第8号、「専決処分の報告について」

藤川議員 四宮橋架け替え工事の変更内容の説明を求める。

島田建設課長 作業時に機械に邪魔になった鉄筋を切断して工事を進めていたの
で、その鉄筋を接ぐために機械式継手工という工事を新たに追加した。

藤川議員 設計どおり工事していれば、機械が入らないことは当然わかっていた
のではないか。

島田建設課長 今回の工事では下部工と上部工があるが、そのどちらでも作業で
きたことや、うまく鉄筋をかわして作業ができる可能性もあった。そこで、まず
は鉄筋を下部工の設計どおりに設置し、選定した機械の邪魔になった部分を切断
した。

田上忍議員 今の答弁では、最初から切断する必要があるとわかっていたようだ
が、どうして変更が必要なのか。

島田建設課長 最初の時点ではどちらにするのが適切かわからなかったので、作
業の進み具合を見ながら協議を重ねて決定した。

田上忍議員 1回切って、また接いだということだが、強度的には問題ないか。

島田建設課長 強度試験を実施して、問題ないことを確認している。

議案第10号、「御船町地域防災計画の一部修正について」

防災会議の役割

福本議員 防災会議の役割の説明を求める。

野口総務課長 災害対策基本法に基づいて防災計画を審議また策定する機関が防災会議である。

福本議員 本年度は、感染症の影響で書面開催だったと聞いたが、各委員から意見等はあったか。

野口総務課長 委員に新旧対照表と本冊を郵送して審議を行った。委員からの意見等は特段出なかった。

消防団組織の現状

福本議員 消防団組織の3分団と音楽隊が削除されており、新たに女性消防隊が結成されている。この説明を求める。

野口総務課長 第3分団の水越地区は、消防団としては削除されたが、機能別消防団員として72名に協力していただいている。今後若い人たちがUターンで戻ってくるなど、条件が整えばまた3分団として配置したいと考えている。

女性消防隊は主に役場職員の消防隊である。女性目線での町民サービスの提供、子どもや高齢者や災害時の要支援者などへの対応力の向上を目指している。今後は、上益城消防署の女性消防士と連携して技術訓練等を行いたい。

福本議員 女性消防隊は一般町民を対象に公募しないのか。

野口総務課長 懸案事項である。消防団、団長、副団長会議等を介した上で、今後の女性消防隊のあり方を協議していきたい。

危険区域の周知

福本議員 防災計画には資料編として災害危険区域等が明示されているが、今後町としてどのような防災・減災を計画しているか。

島田建設課長 御船町のハザードマップを全世帯に配布した。出水時は国土交通省がパトロール等を行い、危険箇所には危機管理水位計が設置をされている。こ

れまで、危険箇所の住民への周知が行き届いていない。今後は、各地区に危険箇所の一覧等を明示するなど、各地区で危険箇所を把握してもらうことも必要であると考えている。

増田議員 リアルハザードマップの説明を求める。

野口総務課長 例えば、御船川が氾濫した場合にどのくらいの水位になるかという印を現地に直接「浸水ライン」として表示するようなもの。

福永議員 水害のハザードマップには、県管理河川（加勢川、矢形川など）が越水した場合と御船川が越水した場合の2つがある。しかし、越水していなくても、内水被害が問題になっているので内水被害のハザードマップが必要ではないか。

田中環境保全課長 今年度、雨水管理総合計画を策定する。浸水シミュレーションの中で浸水想定区域図を盛り込んだ。今後、内水ハザードマップも作成の検討をして、町民に示せるよう努力する。

井藤議員 普及啓発するための具体的な方法は何か。

野口総務課長 全世帯に「マイタイムライン」という県が策定したものを配り、早目の避難を呼びかけている。危機的な状況にならないと逃げないということが減るように、いろいろな啓発等をしていく。地域にも出向いて地域防災力を高めていく。

強靱化地域計画とは

増田議員 強靱化地域計画の説明を求める。

坂本企画財政課長 平成25年12月に、大規模自然災害から国民の生命、身体及び財産を保護するとともに、国民生活及び国民経済を守るため平時から強さとしなやかさを備えた国土利用や経済社会システムを構築することを目的として国土強靱化基本法が施行された。国土強靱化地域計画は、この法律の第13条に都道府県または市町村が定めることができる計画として位置づけられ、災害が起きたときの対応の基本方針を定めている。

防災士の育成できたか

増田議員 防災士の育成は現在どのような状況か。

野口総務課長 感染症の影響で令和2年度は講習ができなかった。令和3年度もまだ開催できていないのが実情である。感染状況を見ながら、少しずつ進めていきたいと考えている。

自主防災組織の位置づけ

福永議員 自主防災組織の位置づけ、連絡指揮命令系統はどのようになっているか。

野口総務課長 防災計画の中で自主防災組織の詳細な指揮命令系統関係や伝達事項は掲げていない。

実効性のある計画か

井藤議員 防火設備の項目で「全ての重要文化財に設置」と記載されている物で、現時点で整備されていないものはあるか。

緒方社会教育課長 消火器は設置している。建造物の自動火災報知器はまだ整備していない。

井藤議員 今後整備するのか。

緒方社会教育課長 建造物のほとんどが国指定のものではない。町指定の建物が1軒あり、そこには消火器を設置している。今後、整備を行う予定はない。

井藤議員 これは新しく入れた項目なので、実情に合わせて作った方が良かったのではないかと。実行性のある計画を作してほしい。

井藤議員 備蓄品の計画に「1年目、2年目…」と記載があるがありますが、これは、いつのことか。

野口総務課長 令和2年度から5カ年かけて整備をしていく。いつ大きな災害が起きるかわからないので、できれば前倒して揃えていく。

井藤議員 備蓄計画の数量はずいぶん前から定められているけど、まだ整備できていないのではないかと。実情に合わせて優先して整備すべきものを考えるなど、実行可能な計画を立ててほしい。

備蓄運送の訓練しないのか

井藤議員 訓練等で備蓄状況や運送手段の確認や協定を締結した事業者との確認、住民参加型といった表現があるが、具体的にはどのような訓練を計画しているか。

野口総務課長 物資には地域で備蓄できるものや外部からの応援によって調達できるもの等が考えられる。協定を締結した企業からの物資提供や国からのプッシュ型支援がある。自主防災組織でこういう訓練等を実施してもらう。

井藤議員 町の備蓄品の運送シミュレーション的な訓練はしないのか。

野口総務課長 必要だと感じている

避難所の体制

井藤議員 指定緊急避難場所の収容人数は、感染対策時どのようになるか。

野口総務課長 避難所の1人当たりの面積は3平方メートルで十分感染症対策に耐え得るので、変わらない。

井藤議員 七滝小の校舎は雨漏りをしていると聞いたが、避難所として使えるのか。

野口総務課長 七滝小の校舎は今後改修等の予定はないので、体育館のみで対応する。

井藤議員 田代東部小は校舎と体育館が指定避難場所及び指定避難所として指定されている。田代東部公民館と北田代分館は避難所に指定されていないが、避難所が必要になった場合は、校舎や体育館で対応するのか。

野口総務課 本来の公民館活動に支障を来さないように指定避難所にはしていないが、災害の度合いに応じて臨機応変に対応する。

各課役割の周知徹底

田上英司議員 この計画の改正を職員や関係者への教育とか周知徹底をどうするか。

野口総務課長 庁内での周知徹底は、計画の中に各課の担当所管課が記載をされているので、それぞれの所管課の課長が中心となって、その課の中に徹底する。全体的なものは、総務課から職員への周知徹底を図る。また、関係機関等には、最終的な防災計画を送付して周知徹底を図る。

福永議員 自主防災組織及び行政区は、事務分掌において、どこが上位機関になるのか。

野口総務課長 総務課地域防災係が主に所管する。っていくというものになります。

福永議員 行政区及び自主防災組織は、組織立てをする必要があるのではないか。

野口総務課長 位置づけは記述していくことが求められる。担当関連課とも協力して今後の計画改正で対応していく。

議案第11号、「令和3年度御船町一般会計補正予算（第3号）について」

田上忍議員 農業災害の設計委託料があるが、この工事の完了はいつか。

井上農業振興課長 国の災害査定が9月頃に行われる情報があるので来年度になるだろうと考えている。

田上忍議員 来年度のどのあたりかは、まだわからないのか。

井上農業振興課長 まだわからない。今年度の12月ぐらいになれば先の見通しを立てられるだろうと考えている。